



子育て支援センター活動だより

問 子育て支援センター ☎ 62-3311



今年は天気も良く、あそ
望の郷で滑り台や段ボール
車、ボール等で遊びました。
南阿蘇村、西原村、南小国
町の方々と交流することが
できました。

子どもが「帰らない！」
と言うほど楽しかったみたいなので来て良かったた
です。近場だけどなかなか
来ないし、他町村の方々と一緒に交流を出来
たので楽しかったです。

交流会は初めての参加で
したが、仲良くなつたお
友達もいて子どももとつ
ても楽しそうでした。先
生達が面倒見ててくれて私
も息抜きになりました。



お母さんたちには好きな
積み木の材料を選んで頂き
サンダペーパーで磨いても
らいました。その間、子ども
たちはボランティアさん
や職員と段ボール車やおも
ちゃで遊びました。

● 積木作りは2回目だったんですね。でも子どもが遊んでくれているので、今回作った積木もたくさん遊んでくれると思うとうれしい気持ちになりました。また参加したいです。

子育て支援センターは妊婦さんから子育て中のご家族のどなたでもご利用できます。気軽に立ち寄りください。



スケジュール

1月は、わらべうたで遊ぼうの会、ベビーマッサージの会、お話し会の他に、「お正月遊びをしようの会」「簡単クッキングの会」「思いっきり描こうの会」を予定しています。

た積木が持ち帰れると聞
き参加しました。積木を
もくもくと削る作業は何
も考えずに出来て楽しか
ったです。家で子どもが
遊ぶ姿を見られるのが樂
しみです。



健康
講座

緊急事態発生！特定健診受診率低下から交付金減額の危機！

健 康

交付金を減らさないためには、今年度はあと60人以上の受診が必要です。

その分を補うために保険料が上がる可能性もあります。特定健診は40歳～74歳までの国民健康保険の方は通常院中でも受けていたぐ必要があります。病気を予防・発見することは健診の重要な役割の一つです。さらに皆さんがあなたが受診することによって国から交付金を受取ることができ、私たちの保険料の増額を抑えたり、保健事業に活かすことにつながります。

本年度も集団健診が終了し、地区別・高森町全体の受診率が暫定で出ました。11月時点で最も受診率が高かつた地区は東中原（85・7%）次に芹口（85・4%）、西丁（71・4%）と結果を聞いています。

高森町全体では49・9%の受診率となっています。高森町では平成29年度まで受診率は増加していましたが、（平成29年度53・5%）平成30年度から減少（平成30年度52・4%）しています。（平成30年度延ばすために頑張る市町村には交付金を出して応援しています。しかし平成28年度以降2年連続特定健診受診率が減少していると町へのマイナス評価が付き、国からの交付金に影響するところになりました。場合によっては交付金額が減らされ

で、早めの受付をお願いします。

令和元年度 特定健診受診率（地区別）

